

オペレーションズリサーチ		講師 竹内 芳衛	
科目カテゴリ	経営・経済コースの選択必修科目	科目ナンバリング	23001201

1. 授業のねらい・概要

昨今では社会の仕組みが複雑になると共に情報の量も加速的に増大しつつある。このような状況下では豊富な経験と磨き抜かれた勘を持ってしても、物事の利害損失的確に判断して決断を下すことが難しくなっている。本講義では意思決定を科学的に支援する方法、つまりオペレーションズリサーチの手法の基本を学習することを目的とする。

2. 授業の進め方

講義形式

3. 授業計画

1. ゲーム理論とは何か	9. 支配戦略ナッシュ均衡, バレート劣位
2. ゲーム理論の基本モデル	10. 支配戦略と支配される戦略
3. 戦略形ゲーム, 利得行列	11. ナッシュ均衡が2つ以上あるゲーム
4. 支配される戦略の逐次消去	12. 均衡選択の問題, リスク支配
5. より複雑な逐次消去	13. 純粋戦略と混合戦略
6. 最適応答戦略とナッシュ均衡	14. 混合戦略ナッシュ均衡
7. 逐次消去とナッシュ均衡	15. 寄付金ゲーム
8. 囚人のジレンマと支配戦略	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

授業前に教科書の該当する部分に目を通しておくこと（各回1時間程度）。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

標準解答若しくは解説を提示し、又は本人解答を返却する。

6. 授業における学修の到達目標

1. オペレーションズリサーチの考え方の基礎を理解できるようになる。
2. オペレーションズリサーチの基本的な手法を扱うことができるようになる。

7. 成績評価の方法・基準

定期試験の点数（80～100％）と平素の活動状況（0～20％）で評価する。

8. テキスト・参考文献

土橋俊寛, ゲーム理論, 日本評論社, 2018, (日評ベーシック・シリーズ).

9. 受講上の留意事項

履修者の学修時間が「学則が規定する学修時間（2単位 90時間）の三分の二（60時間）に満たない」と科目担当者が判断した場合には、「本科目を履修した」といえないので、定期試験を受けられない。

出席1回について、学修時間は6時間（授業での学修が2時間, 授業外の学修が4時間）を算入する。

欠席の場合、授業での学修は0時間であるが、「証明書等を完備した欠席届が、欠席後最初の授業出席時までに提出された場合」に限り、授業外の学修は2時間または4時間（時間数は欠席理由等で変わる）を算入する。

遅刻・早退の場合、授業での学修は0時間または1時間として算入することがある。